

みずほCustomer Desk Report 2019/01/24 号(As of 2019/01/23)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.47
TKY 9:00AM	109.36	1.1363	124.27	GBP/USD	1.2955
SYD-NY High	110.00	1.1394	124.94	AUD/USD	0.7122
SYD-NY Low	109.33	1.1351	124.25		0.7144
NY 5:00 PM	109.60	1.1381	124.74		0.7118
NY DOW	24,575.62	171.14	日本2年債	-0.1700	0.00bp
NASDAQ	7,025.77	5.41	日本10年債	0.0000	0.00bp
S&P	2,638.70	5.80	米国2年債	2.59	▲0.10bp
日経平均	20,593.72	▲29.19	米国5年債	2.58	0.51bp
TOPIX	1,547.03	▲9.40	米国10年債	2.75	0.88bp
シカゴ日経先物	20,570.00	120.00	独10年債	0.2230	▲1.05bp
ロンドンFT	6,842.88	▲58.51	英10年債	1.32	0.40bp
DAX	11,071.54	▲18.57	豪10年債	2.2815	▲2.10bp
ハンセン指数	27,008.20	2.75	USDJPY 1M Vol	6.73	▲0.27%
上海総合	2,581.00	1.30	USDJPY 3M Vol	7.15	▲0.18%
NY金	1,284.00	0.60	USDJPY 6M Vol	7.64	▲0.13%
WTI	52.62	▲0.39	USDJPY 1M 25RR	-1.08	Yen Call Over
CRB指数	178.66	▲0.33	EURJPY 3M Vol	7.93	▲0.17%
ドルインデックス	96.11	▲0.19	EURJPY 6M Vol	8.35	▲0.13%

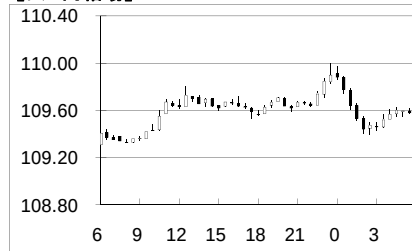
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月23日	8:50	日	貿易収支	12月 ▲553億円 ▲423億円
-	-	日	日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	- -0.10% -0.10%
-	-	日	黒田日銀総裁「現在の緩和を粘り強く続けることが適当」	
1月24日	0:00	米	リッチモンド連銀製造業指数	1月 -2 -2
0:00	0:00	欧	消費者信頼感指数	1月 -7.9 -6.5

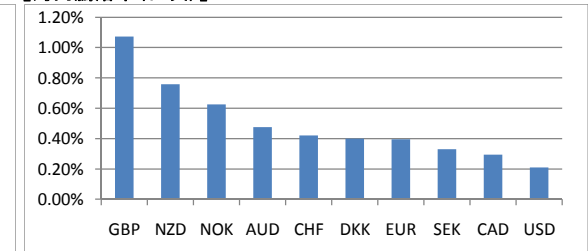
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月24日	17:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	1月 51.5/52.1/51.9	51.5/51.8/51.6
	18:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	1月 51.4/51.5/51.4	51.4/51.2/51.1
	21:45	欧 ECB理事会 ECB主要政策金利	- 0.00%/0.25%/-0.40%	0.00%/0.25%/-0.40%
	22:30	欧 ドラギECB総裁 記者会見	-	-
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 218k	213k
	23:45	米 マークイット製造業/サービス業/総合PMI	1月 53.5/54.0/-	53.8/54.4/54.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.20-110.00	1.1350-1.1395	124.40-125.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、米国上院が政府機関閉鎖解除に向けた採決を24日に実施するとの報道が好感され、米国金利が上昇する展開に110円ちょうどまで一時上昇した。然しながら、上値では売り意欲も強く、原油相場の下落と米国株式市場にてダウが下落する展開となると、円買い優勢となり109.40円まで反落し、その後は109.60円近辺での推移となった。本日のドル円は堅調な推移を見込む。昨日は、110円での上値の重さも確認されたものの、英国のEU離脱を巡り、合意なき離脱の阻止に向けた動きが議会で過半数を占める勢いとなっていることに加え、米上院で本日採決が予定されているトランプ米大統領と民主党との妥結案への期待感もあり、リスクオフ地合が後退している中、ドル円は底堅い推移を見込む。

東京	東京時間のドル円は109.36レベルでスタート。米政府機関閉鎖解除に向けて米上院が24日にも法案の採決を実施するとのヘッドラインが好感され、安く寄り付いた日経平均株価が下げ幅を取り戻し上昇する展開にドル円も底堅く推移。予想通り日銀が金融緩和と政策の維持を決定する中、ドル円は一時109.80を付けたが、買い一巡後は109円台後半でのレンジ推移となり、109.67レベルで海外市場へと渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は109.67レベルでオープン。欧州時間は材料少なく小動き。タボス会議で安倍首相が今秋の消費増税について言及したが、反応はほぼ見られなかった。109.53-72円の範囲で取引され109.65レベルでNYに渡った。ボンドドルは1.2952レベルでオープン。ブレグジット交渉期限の延長への期待から引き続きボンドが買われ、一時1.3042まで上昇し1.3031レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	米上院が政府機関閉鎖解除に向けて24日に採決を実施するとの報道を好感し、海外市場で109.80まで戻したドル円は109.65レベルでNYオープン。NY朝方は米金利上昇を受けたドル買いが先行し、ドル円は110円ちょうどまで上昇。しかしこのレベルでは売り意欲は強く、原油相場が下落する動きを受け、プラス圏で推移していたダウがマイナス圏へ下落する展開に円買いも強まり、109.40まで反落。NY午後は109.60付近での推移が続き、109.60レベルでクロスした。一方、明日のECB理事会を控え、海外市場で1.1360付近での狭いレンジでの推移が続いたユーロドルは1.1366レベルでNYオープン。NY朝方はドル買いが優勢となったことから1.1351まで下落するが、その後ノーティールのブレグジットは無いとの期待から、ボンドドルが上昇したこと等からユーロドルも1.1394まで戻す。NY午後は明日のECB理事会はノイベントとの見方が強まる中、狭いレンジでの推移が続き、1.1381レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:関・田家